

# 防犯ボランティアの

い ろ は

パトロールの  
活動方法編

## 1 複数人でしましょう

2人以上の複数メンバーでパトロールしましょう。

1人で行うよりも安全ですし、多くの目で見ることにより、多くの危険な場所などを発見できたり、より正確な情報を得ることができます。

## 2 徒歩でしましょう

街頭で犯罪に遭う方の多くが、歩行者や自転車利用者です。同じ視点で見ることで、危険な場所がよく見えてくるので、最も効果的です。

ただし、山間部など地域によっては、車でのパトロールが効果的な場合もありますので、地域の情勢にあったパトロールを行きましょう。

## 3 「あいさつ、声かけ」をしましょう

「おはようございます」や「こんばんは」といった日常のあいさつだけでも十分です。地域住民が、お互いに声をかけ合うことで、地域の連帯感が生まれます。何より、犯罪を企む者は声をかけられること、見られることを最も嫌うのです。

## 4 記録・情報交換をしましょう

パトロールの結果は、パトロール日誌に記録しておきましょう。

メンバー間での引継ぎや警察・関係機関との情報交換に役立ちます。

地域全体で情報を共有し、地域ぐるみで犯罪の起きにくいまちづくりを進めましょう。

気楽に！気長に！無理せずに！

